



第373号

発行  
浄土真宗  
心光寺  
奥原曇龍  
倉敷市早高426  
☎(086)420-1311



# 耳を傾けよう



カット：本多紘子

梅一輪ほどの暖かさとお申しすように、春の息吹が感じられる昨今ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。いよいよ本格的な受験シーズンに入ってきましたが、高校や大学を受験するご子息様のいらっしゃる御家庭では、風邪を引かさないように、新型コロナウイルスに感染しないように、祈るような気持ちでお過ごしでしょうか。

アメリカ大統領選で勝利した民主党の元副大統領のジョー・バイデン氏(78)が1月20日、ワシントンの連邦議会議事堂で就任式の宣誓をし、第46代大統領に就任しました。就任演説の中で「新型コロナウイルスの感染大流行やアメリカ社会の分断という国難を克服するため、全身全霊を捧げる」と訴えました。移民対策である国境の壁建設の中止や地球温暖化対策の国際枠組み『パリ協定』への復帰など、トランプ前大統領(74)の看板政策を覆す17の文書に署名し、「米国第一」路線から脱却し、国際協調路線への転換に踏み出しました。就任式では、カマラ・ハリス前上院議員(56)も宣誓し、女性、黒人、アジア系として初の副大統領になりました。ハリス氏はカリフォルニア大バークレ校に通っていたジャマイカ出身の黒人の父と、インド出身の母の間に生まれた移民2世で、米国の「多様性」を象徴する

\*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に電話下さい。

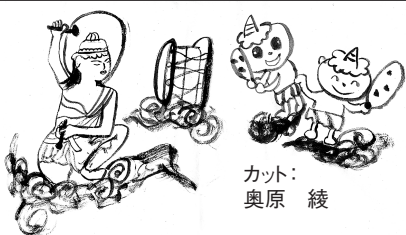
政治家の一人でもあります。トランプ前大統領によって、米国の多様性が否定され、自分の言論に責任を取らない人が増え、民主国家が壊れていく事態に、ハリス氏はバイデン氏とともに多様性国家の危機を乗り越え寛容な社会を目指す述べ、愚僧は期待するばかりです。

アメリカは富める国であり、理想の民主国家として世界中の国から羨望されていたのに、貧富の差が激しくなり、新しい移民が増えれば失業者も増えて、政治に不満を持つ人がトランプさんを支持したようです。国の政治に不満を持つ人が暴動を起こすと悲しいですね。アメリカの国が突然に崩壊すると世界中が大混乱になるので、貧富の差や皮膚の色、男女の地位の差を無くすようにして欲しいな。

飛鳥時代の聖徳太子は『十七条憲法』の第十条に「このころの忿を絶ち、おもての瞋を棄てて、人の違ふことを怒らざれ、人みな心あり。心のおの執るところあり。かれ是とすれば、われは非とす。われ是とすれば、かれは非とす。われかならずしも聖にあらず。かれかならずしも愚にあらず。ともにこれ凡夫のみ。是非の理、誰かよく定むべけんや。あいともに賢愚なること、鑑の端なきがごとし。ここをもつて、かの人は瞋るといへども、かえつてわが失を恐れよ。われひとり得たりといへども、衆に従いて同じく擧え」とありますが、バイデン大統領は十七条憲法のように就任演説で、「分断を克服して米国民は結束しよう。我々は互いに、敵ではなく隣人として接することができ。相手に耳を傾け、顔を合わせるから始めよう。互いに敬意を示そう」と呼びかけています。

日本でも東京五輪が、新型コロナウイルスの世界的流行で1年延期されていますが、この冬に感染が第3波として拡大し、また変異種のウイルスが発生したことで、今年の夏の開催が危ぶまれています。開催賛成派と開催反対派が、国を分断するような対立に日本はならないと思いますが、相手の意見に耳を傾けたいですね。また、新型コロナで生活に困っている人々にも援助の手を差し伸べたいな。合掌(奥原 曇龍)

『お互いに相手に耳を傾けよう 違ふ意見に世界は広がる』 どんりゆう



カット：奥原 綾

## ともしび説法

日時・二月十九日「金曜日」 午後一時半から午後四時まで。  
三月 九日「火曜日」 午後一時半から午後四時まで。  
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



# お釈迦様ものがたり 52

仏教を蛇蝎のごとく嫌っていたダナンジャンニーの夫パーラドワージヤバラモンが、突如として仏教を信じたばかりでなく、仏教に出家してしまったことを聞いて、彼の友人たちは大いに驚き、これを怒って喜ばずに、竹林精舎にお釈迦様を訪ね、悪口雑言をもって、お釈迦様を非難します。

その一人に対して、お釈迦様は質問されました。「バラモンよ、親戚や友人が客としてやって来たときに、君は主人として彼らを接待しますか」と聞くと、「はい、時には接待をすることがある」と答えます。

お釈迦様は「もし彼らがこの接待を受けなければ、その出された食事は誰のものになるか」と問うと、「それは主人である自分のものとなる」と。

お釈迦様は「バラモンよ、そのように、君が私に罵詈雑言を投げつけているが、それを私は受け取らない。とすればその悪口は君に戻り、君のものとなるであろう」と言うので、これをバラモンはお釈迦様が怒って語られたと考へ、「ビンビサーラ王と王臣たちは、『沙門ゴータマは最上のさとりを開いた阿羅漢である』と理解されているのに、それにもかかわらず、ゴータマは怒るではないか」と抗議します。

お釈迦様は、「怒りなく、心身を訓練し、正しく生活し、智慧あつて解脱し、静寂となつて居る者に、どうして怒りが起こるであろう。怒りに対して怒り返すことは、さらに悪いことである。怒る者に怒り返さないならば、彼は二つの勝利を得る。これは自分と相手の両方を益するからである」と答えると、かのバラモンは大いに感服し、友人と同じく仏教に出家して阿羅漢となりました。他のふたりの友人も、お釈迦様の適切な説法を受け、仏教に帰依し、出家して阿羅漢となります。合掌 (奥原豊彦)

マスクつけ豆まきながら福は内、心に希望のとももしび高く 田辺多恵子



元旦に集まってくれた皆様

## とももしび法話

立春とは名ばかりの寒い日が続いていますが、皆様お元氣でお過ごしですか。

コロナの感染が治まらないのは心配ですが何事も成るようにはいかないですね。大丈夫。頑張ります。福は内、鬼も内。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

### 謹賀新年

人生の荒波超えてゆく末は小春のごとくあらまほしかな

福井県坂井市 多田 文樹

もう此処に舊ほつこり野水仙

早島町若宮 藤原智恵子

91歳5ヶ月になり、命なくなるまで一日でも大切に悔いなく生きていきたいと思つて、身体と相談しながら歩んでいます。年とると身体が不自由ですが、感謝の日暮らします。 倉敷市庄新町 高橋マスコ

未知のウイルス感染症や異常気象の多発は、環境破壊をとめないヒトへの地球からの警告。自然と共生する経済社会を目指そうよ。 倉敷市羽島 常久 勢子

## とももしび説法

日時・二月 十九日「金曜日」 午後一時半から午後四時まで。  
三月 九日「火曜日」 午後一時半から午後四時まで。  
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて  
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○とももしび説法・お寺の行事予定

四月 十八日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。

午前・ピアノ&チェロ演奏、午後・法要儀式・仏教講演

五月 十一日(火)・午後一時半から午後四時・早高の本堂。

☆とももしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。とももしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、とももしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



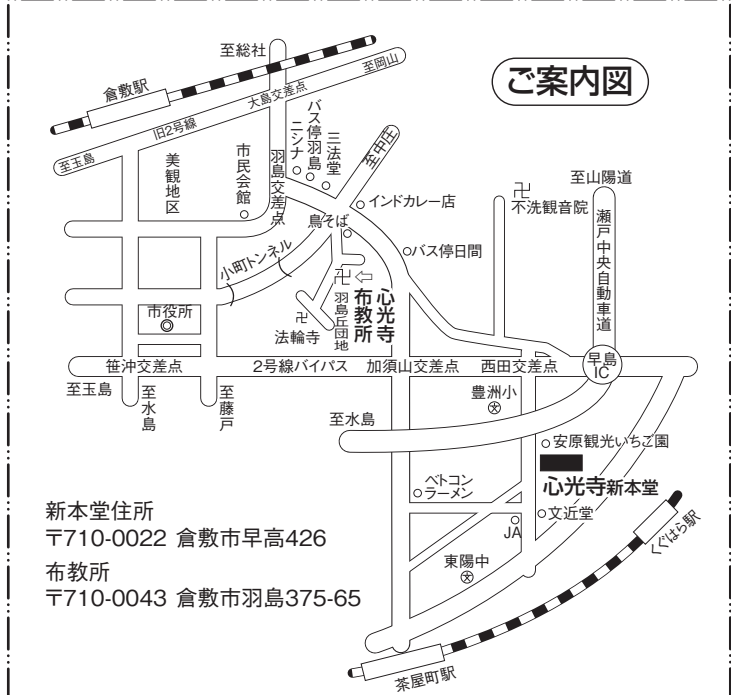
## いころの詩

梅の花が咲き出したよ  
悲しみの中からも花が咲く  
清らかな心に花が咲く  
苦しみの心にも花が咲く  
健康であつても健康でなくても  
心の中に大きな花を咲かそうよ  
福は内 鬼も内で花が咲く



カット:吉岡美枝

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんを紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



◎とももしび制作費に御寄付ありがとうございました。  
倉敷市 左右田様 古谷様 松下様 3千円  
倉敷市 大庭様 早島町 仁熊様 4千円  
倉敷市 高橋マスコ様 塩崎皓一様 山田孝治様 人見進様 5千円  
倉敷市 佐野十三男様 藤原力様 1万円

〒710-0022 倉敷市早高426  
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺  
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322  
携帯電話 (090)-2297-2504

★『とももしび』の毎月発行も、お陰様で「373号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。とももしび説法の日には、茶屋町駅西口に12時30分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。合掌 心光寺 総代長 本家豊彦